
令和4年度当初予算(案)の概要



令和4年2月



目 次

1. 当初予算(案)の特徴	1
2. 当初予算(案)の規模	2
3. 歳入・歳出予算(案)の内訳(一般会計)	
(1)歳入予算(案)の内訳	3
(2)歳出予算(案)[性質別]の内訳	4
(3)歳出予算(案)[目的別]の内訳	5
4. 健全な財政運営	
(1)基金残高・基金取崩額の推移	6
(2)市債残高の推移	7
(3)行財政改革の推進	8
(4)デジタル・トランスフォーメーション(DX)の推進	9
5. 主要な施策・事業	
新型コロナウイルス感染症対策	10
将来都市像Ⅰ 中四国をリードし、活力と創造性あふれる「経済・交流都市」	
1 地域経済の活性化による、魅力と活力あふれるまちづくり	11
2 コンパクトでネットワーク化された快適で多様なまちづくり	15
3 歴史と文化が薫り、誇りと一体感の持てるまちづくり	18
将来都市像Ⅱ 誰もがあこがれる充実の「子育て・教育都市」	
4 安心して子育てができ、若者や女性が輝くまちづくり	21
5 つながる教育で未来を拓く人材を育むまちづくり	24
6 理解を深め合い、ともに築く市民主体のまちづくり	26
将来都市像Ⅲ 全国に誇る、傑出した安心を築く「健康福祉・環境都市」	
7 住み慣れた地域で安心して暮らせる健康・福祉のまちづくり	27
8 地域の力をいかした災害に強く安全・安心なまちづくり	30
9 豊かな自然と調和した市民の手による持続可能なまちづくり	34
都市経営	
10 圏域をリードし、都市の持続的発展を支える都市経営	35
[お知らせ] ふるさと納税	37
[お知らせ] 企業版ふるさと納税	37
[お知らせ] 宝くじは身近なまちづくりに役立てられています	38
[お知らせ] 市民一人当たりの予算額は…	38

6. 予算編成過程の見える化

(1)当初予算要求額に対する当初予算額(案)一覧	39
(2)市長査定項目一覧	41
(3)国の補正予算等に伴う前倒し実施予定事業一覧	42

7. 「社会保障と税の一体改革」の充実

[計数編]

一般会計歳入・歳出	44
特別会計・事業会計	45
予算性質別経費	46
基金及び地方債現在高の状況	47

※数値は四捨五入を原則として端数調整を行っています。

1 当初予算(案)の特徴

～ まちの変化を実感、そして飛躍に向けた始動 ～

令和4年度当初予算(案)は、新型コロナウイルス感染症拡大が地域経済や市民生活に大きな影響を及ぼすなか、

- 新型コロナ感染症対策 に万全を期しつつ、
- 街を楽しむ
- 地域の振興
- 子育て・教育
- 産業・観光の振興

の各分野、さらには

- DX(デジタル・トランスフォーメーション)の推進
- 地球温暖化対策(脱炭素社会の推進)

など、重要施策に取り組むとともに、今後の感染症対策にも臨機応変に対応できるよう、業務改革の推進や事業の進度調整、有利な財源の活用、備えてきた基金の取崩しなどにより、将来負担の軽減を含めた一般財源を確保することで、過去最高額となった令和4年度の当初予算においても健全な財政運営を維持しつつ編成しています。

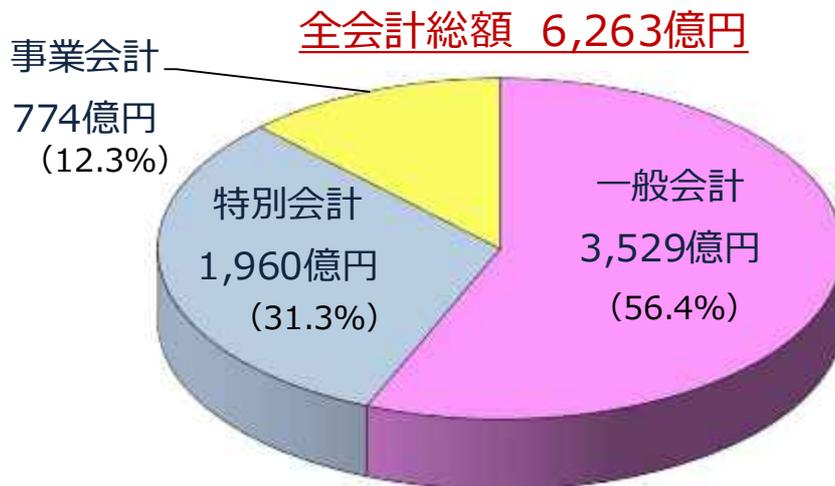


2 当初予算(案)の規模

- 一般会計は、過去最高となる 3,529億円
(対前年度比 88億円、2.6%の増)
- 一般会計、特別会計、事業会計を合わせた総額は 6,263億円
(対前年度比 131億円、2.1%の増)

(単位：百万円)

区分	令和4年度 当初予算(案)	令和3年度 当初予算	増減額	対前年度比
一般会計	352,947	344,060	8,887	2.6%
特別会計	195,946	192,893	3,053	1.6%
事業会計	77,394	76,262	1,132	1.5%
合計	626,287	613,215	13,072	2.1%



3 歳入・歳出予算(案)の内訳(一般会計)

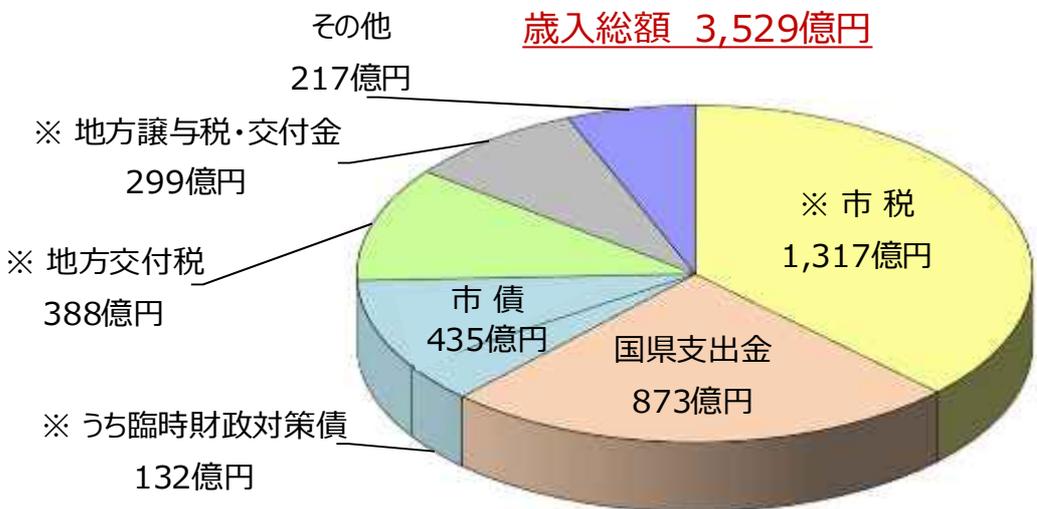
(1) 歳入予算(案)の内訳

- 一般財源合計は、対前年度比で3億円の減(△0.1%)
 - ・市税は、給与所得の増加による個人市民税の増加や企業の業績回復傾向による法人市民税の増加、新型コロナウイルス感染症に係る特例措置等の終了による固定資産税の増加などにより
同 68億円の増(+5.4%)
 - ・地方交付税に臨時財政対策債を含めた実質的な交付税は、臨財債の減少により
同 62億円の減(△10.7%)
 - ・市債(うち臨時財政対策債以外)は、岡山芸術創造劇場整備費の増加などにより
同 38億円の増(+14.6%)
- 国・県支出金は、障害者自立支援関係費や市街地再開発事業の増加などにより
同 34億円の増(+4.1%)

(単位:百万円)

区 分	令和4年度	構成比	令和3年度	構成比	増 減 額	対前年度比
※ 市 税	131,680	37.3%	124,918	36.3%	6,762	5.4%
※ 地方譲与税・交付金	29,861	8.5%	30,728	8.9%	△ 867	△2.8%
※ 地方交付税	38,800	11.0%	33,500	9.7%	5,300	15.8%
※ 市 債	43,546	12.3%	51,172	14.9%	△ 7,626	△14.9%
※ うち臨時財政対策債	13,200	3.7%	24,700	7.2%	△ 11,500	△46.6%
うち上記以外	30,346	8.6%	26,472	7.7%	3,874	14.6%
国・県支出金	87,267	24.7%	83,842	24.4%	3,425	4.1%
その他	21,793	6.2%	19,900	5.8%	1,893	9.5%
うち財源調整基金繰入金	8,000	2.3%	7,000	2.0%	1,000	14.3%
合 計	352,947	100.0%	344,060	100.0%	8,887	2.6%

※ 一般財源 合計	213,541	60.5%	213,846	62.1%	△ 305	△0.1%
------------------	----------------	--------------	----------------	--------------	--------------	--------------

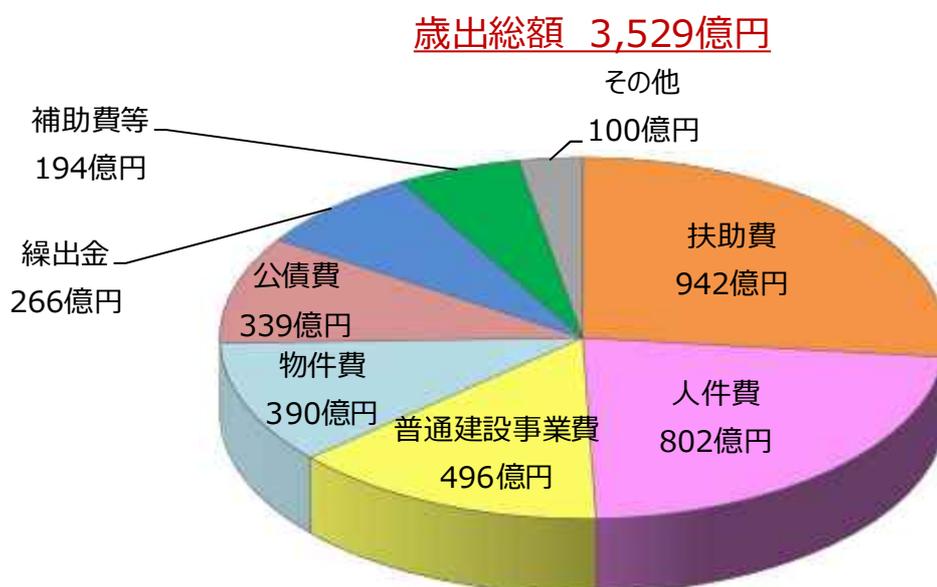


(2) 歳出予算(案)[性質別]の内訳

- 物件費は、廃棄物処理や放課後児童クラブに要する経費の増加などにより
対前年度比で 33億円の増(+9.3%)
- 扶助費は、障害者自立支援関係費や子どものための教育・保育給付費の増加などにより
同 22億円の増(+2.4%)
- 普通建設事業費は、岡山芸術創造劇場整備費の増加や岡山北斎場整備費の減少
などにより
同 16億円の増(+3.5%)
- 繰出金は、特別会計(後期高齢、介護)への繰出金の増加などにより
同 7億円の増(+2.7%)

(単位: 百万円)

区 分		令和4年度	構成比	令和3年度	構成比	増 減 額	対前年度比
義 務 的 経 費	人件費	80,232	22.7%	80,691	23.5%	△ 459	△0.6%
	扶助費	94,168	26.7%	91,961	26.7%	2,207	2.4%
	公債費	33,941	9.6%	34,335	10.0%	△ 394	△1.2%
	小 計	208,341	59.0%	206,987	60.2%	1,354	0.7%
投 資 的 経 費	普通建設事業費	49,597	14.1%	47,933	13.9%	1,664	3.5%
	災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	-
	小 計	49,597	14.1%	47,933	13.9%	1,664	3.5%
そ の 他 の 経 費	物件費	39,046	11.1%	35,710	10.4%	3,336	9.3%
	補助費等	19,357	5.5%	18,524	5.4%	833	4.5%
	繰出金	26,638	7.5%	25,935	7.5%	703	2.7%
	その他	9,968	2.8%	8,971	2.6%	997	11.1%
	小 計	95,009	26.9%	89,140	25.9%	5,869	6.6%
合 計		352,947	100.0%	344,060	100.0%	8,887	2.6%

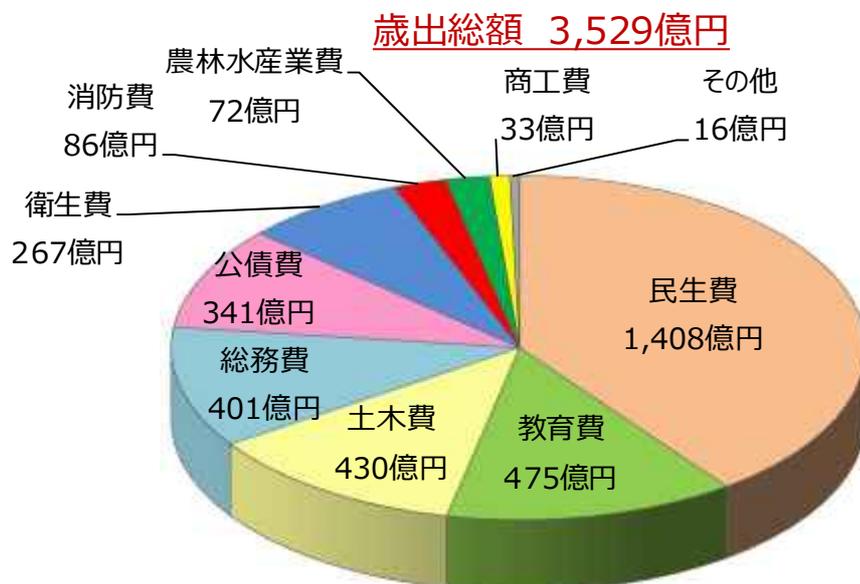


(3) 歳出予算(案)[目的別]の内訳

- 民生費は、障害者自立支援関係費や子どものための教育・保育給付費の増加などにより
対前年度比で 49億円の増(+3.6%)
- 教育費は、山南学園や上道公民館の整備費の減少などにより
同 22億円の減(△4.4%)
- 総務費は、岡山芸術創造劇場整備費の増加などにより
同 58億円の増(+17.0%)
- 衛生費は、岡山北斎場整備費の減少などにより
同 9億円の減(△3.2%)
- 農林水産業費は、次期作継続応援金(米、ノリ)の皆増などにより
同 7億円の増(+10.0%)

(単位:百万円)

款 別	令和4年度	構成比	令和3年度	構成比	増 減 額	対前年度比
民生費	140,789	39.9%	135,911	39.5%	4,878	3.6%
教育費	47,491	13.5%	49,667	14.4%	△ 2,176	△4.4%
土木費	42,957	12.2%	41,983	12.2%	974	2.3%
総務費	40,120	11.4%	34,297	10.0%	5,823	17.0%
公債費	34,090	9.6%	34,451	10.0%	△ 361	△1.0%
衛生費	26,729	7.6%	27,609	8.0%	△ 880	△3.2%
消防費	8,642	2.4%	8,839	2.6%	△ 197	△2.2%
農林水産業費	7,153	2.0%	6,502	1.9%	651	10.0%
商工費	3,327	0.9%	3,127	0.9%	200	6.4%
その他	1,649	0.5%	1,674	0.5%	△ 25	△1.5%
合 計	352,947	100.0%	344,060	100.0%	8,887	2.6%



4 健全な財政運営

(1) 基金残高・基金取崩額の推移

- 令和4年度は、岡山芸術創造劇場整備などによる財源不足に対応するため、かねてより準備してきた公共施設等整備基金の取崩しの増額など、財源調整のための基金から前年比で10億円増の80億円を取り崩しています。
- 今後の感染状況が見通せない中、あらゆる事態における迅速かつ機動的な対応への備えとして、前年度の決算剰余の積み立てにより基金の残高を前年度と同額程度に維持し、不足する財源の確保に努めています。

○当初予算編成時点の基金残高

(単位: 百万円)

区 分	H30 当初	R元 当初	R2 当初	R3 当初	R4 当初
財政調整基金	15,370	11,390	14,568	14,935	15,867
市債調整基金	1,463	1,496	1,520	1,546	1,576
公共施設等整備基金	14,258	12,874	12,865	12,861	11,866
3 基金合計	31,091	25,760	28,953	29,342	29,309

(注1) 市債調整基金は、満期一括償還地方債の元金償還に係る積立額及び取崩額を除いたもの。

○当初予算編成時点の基金取崩額

(単位: 百万円)

区 分	H30 当初	R元 当初	R2 当初	R3 当初	R4 当初
財政調整基金	4,500	5,600	5,000	5,000	5,000
市債調整基金	0	0	0	0	0
公共施設等整備基金	1,700	1,400	2,000	2,000	3,000
3 基金合計	6,200	7,000	7,000	7,000	8,000

※庁舎整備基金を含めた取崩額 8,088

○主な特定目的基金の取崩額

- ・ 庁舎整備基金 88百万円

(2) 市債残高の推移

■ 一般会計の市債残高のうち、臨時財政対策債等の残高は、1,984億円で前年度より1億円減少しています。これは、財政収支の不足額を補てんする臨時財政対策債の発行抑制によるものです。

通常債残高(※)は、1,674億円で前年度より69億円増加しています。

岡山芸術創造劇場整備や幼保一体化施設整備など、喫緊の課題への対応を着実に進める一方で、合併推進債や緊急防災・減災事業債などの交付税算入率が高く財政的に有利な市債を活用することで、交付税算入がない市債と比較して、74億円の縮減を図るなど、将来の財政負担を抑制しています。

※通常債・・・元利償還金の全額が地方交付税に算入されるものを除いた実質的な市債のこと。

(単位:百万円)

区分	H30 当初	R元 当初	R2 当初	R3 当初	R4 当初	増減額 R4-R3
元金償還金	(19,089)	(19,124)	(19,108)	(19,024)	(18,018)	(△1,006)
	29,426	30,189	30,668	32,079	31,843	△236
借入額	36,323	37,815	45,540	51,172	43,546	△7,626
年度末残高	(154,635)	(152,312)	(156,859)	(160,477)	(167,387)	(6,910)
	326,871	335,493	347,903	358,993	365,827	6,834

(注1) ()内は、減税補てん債、臨時財政対策債等100%交付税算入される起債を除いたもの。

(注2) 元金償還金は、満期一括償還地方債の償還財源に充てるため市債調整基金に積み立てた額を含み、基金から繰入れて満期一括償還した額は除く。



(3) 行財政改革の推進

- 市民福祉の向上と活力ある都市づくりを進めるため、不断の行財政改革を推進し、健全で持続可能な財政運営を行うとともに、公民連携などの行政改革にも取り組んでいます。

健全で持続可能な財政運営

○既存事業の見直しや事務の改善を検討する「事務事業点検」の実施

○歳出の見直し・歳入の確保

- ・道路照明灯LED化におけるESCO事業の導入
- ・区役所維持管理費用の見直し 等

令和3年度効果額
約4億37百万円

公共施設等のマネジメントの推進

岡山市公共施設等総合管理計画（総論）と、その実行計画である個別施設計画（各論）に基づき、実効性の高い公共施設等のマネジメントを推進します。

○一般競争入札による市有未利用地の売却

令和3年度売却額（R4.1月末現在）
約42百万円（2件）

行政のスマート化

行政手続きのオンライン化やデジタル技術の積極的な活用等を通じて、市民サービスの向上と業務の効率化を図っていきます。

○民間事業者との連携による業務改革（BPR）
に向けた業務量調査の実施 ※1

○書面・押印・対面を必要とする手続きの見直し
とオンライン化の推進

○AIやRPAなどのデジタル技術の積極的活用
※2 ※3



民間事業者との連携協定締結（R3.12）

- ※1 BPR（ビジネス・プロセス・リエンジニアリング）：既存の業務を抜本的に見直し、再構築を図ること
- ※2 AI（アーティフィシャル・インテリジェンス）：人工知能のこと
- ※3 RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）：人間が行ってきた作業をソフトウェアのロボットで自動化すること

組織力の向上

組織力を一層高め、高度化する行政課題に対応していきます。

○女性の活躍、業務の効率化、多様で柔軟な働き方の推進

公民連携と透明性の高い市政運営

公民連携によって民間活力の活用を図るとともに、市政情報の発信力を高めていきます。

○公共施設等における公民連携手法の活用や事業の見直しを通じた民間委託の推進

(4) デジタル・トランスフォーメーション(DX)の推進

地域経済の発展と市民一人ひとりの幸せを実現していくため、①地域社会のDX、②市民サービスの向上、③行政事務の効率化の3つの施策分野を掲げる中で、DXによる「住みやすく躍動感のある」まちづくりを実現していきます。

デジタル化関連事業予算 約14億33百万円

① 地域社会のDX

デジタル技術の活用で地域産業の生産性向上につなげるほか、教育、健康福祉、防災等の分野でも幅広く活用して安心して快適な生活を実現します。

◆中小企業デジタル化推進事業	72百万円	
◆スタートアップ支援事業	68百万円	
◆スマート農業推進モデル事業	5百万円	
◆岡山城デジタルコンテンツ制作	12百万円	
◆オープンデータの推進 (道路関連データの整備・公開など)	207百万円	
◆GIGAスクール構想の推進	283百万円	
◆犬島オンライン健康相談	2百万円	
◆デジタルを活用した防災力の強化	16百万円	
◆町内会活動のデジタル化	2百万円	
◆デジタルデバイド対策	4百万円 など	

② 市民サービスの向上

市民の利便性向上につながる行政手続きのオンライン化を推進するとともに、窓口での手続きも市民が「書かない・待たない」窓口を目指します。

◆行政手続きのオンライン化 (市民手続きや電子入札の拡充等)	79百万円	
◆キャッシュレス決済の推進 (納付書のコンビニ・スマホ対応)	183百万円	
◆AIチャットボットの活用	4百万円 など	

③ 行政事務の効率化

全庁的なBPR(業務改革)を実施してAI・RPAの導入を推進するほか、情報システムの標準化、働き方改革等を着実に前に進めます。

◆業務量調査に基づく業務改革の推進	22百万円	
◆RPA等のICTツール活用	19百万円	
◆働き方改革(テレワーク)の推進	7百万円	
◆オンライン会議の推進	12百万円 など	

5 主要な施策・事業

新型コロナウイルス感染症対策

令和4年度における新型コロナウイルス感染症対策は、国の経済対策に呼応した令和3年度2月補正予算への前倒しなどを含め、感染拡大防止対策を中心に、新しい生活様式への取組、市民生活支援などに必要な予算を編成しています。

一方、オミクロン株の急拡大に伴う今後の地域経済などへの影響が予測できない中、社会経済活動の再開・回復に向けた支援策については、国や県の動向を踏まえつつ、コロナ臨時交付金（約19億円）などを活用しながら、必要な対策に迅速かつ積極的に取り組んでまいります。

<主な事業>	(単位:百万円)	令和4年度 当初予算	2月補正 前倒し等予定 (新規、前倒しを含む概算数)
1. 感染拡大防止と次なる危機への備え		1,404	3,113
ワクチン接種体制の確保 <small>3回目追加接種、小児1・2回目接種体制を確保</small>		7	325
新型コロナウイルス感染症対策事業 <small>PCR検査の実施、受診相談センターの運営、保健所応援職員に係る経費 など</small>		358	2,286
感染防止用品等の購入 <small>公共施設や市民窓口等の感染予防対策として、マスクや消毒液等を購入</small>		83	331
新しい生活様式対応 <small>デジタル化・オンライン化、GIGAスクール構想によるICT活用支援事業 など</small>		493	
2. 地域経済等への支援		609	0
次期作継続応援金 <small>米販売農家、ノリ養殖漁業者の次期作継続を支援</small>		474	
中小企業支援事業費補助金（設備投資） <small>感染症の影響により売上が減少した事業者の設備投資を支援</small>		60	
障害福祉事業サービス継続支援		11	
融資・経営相談の窓口強化 <small>セーフティネット申請受付窓口への人員配置及び専門家派遣による相談会の実施</small>		14	
オンラインによる販路開拓及び商談力向上事業		8	
3. 市民生活・活動への支援		414	13
緊急対応型雇用創出事業 <small>解雇等で就労機会を失った方々を職員として雇用</small>		132	
生活困窮者等支援事業（相談・居住・就職・家計支援等）		89	
子どもの学習サポート事業（訪問・遠隔型）		30	
新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金			11
子どもの居場所等の緊急支援活動補助		8	
合計		2,427	3,126

新型コロナウイルス感染症関係予算は、上記令和4年度当初予算 約2.4億円、令和3年度2月補正へ前倒し予定 約3.1億円に加え、11月補正予算に計上した『ワクチン接種関連経費』のうち、令和4年度へ繰越予定 約3.0億円と合わせると、合計 約8.5億円程度となる見込みです。



1 地域経済の活性化による、魅力と活力あふれるまちづくり

R4予算額 ()書きは一般財源

● 中小企業デジタル化推進事業

72百万円(72百万円)

拡充

中小製造事業者等の大きな課題である「人手・人材不足」「労働生産性向上」に対応するため、IT・ロボット事業者等とのマッチング、IoT・AI等の導入支援を行うことで、DX(デジタルトランスフォーメーション)を促進し、労働生産性向上や競争力強化を図ります。



● スタートアップ支援事業

68百万円(34百万円)

拡充

岡山市の経済成長の担い手として期待されるスタートアップへの支援メニューを強化し、スタートアップが創出され、成長が促進される環境づくりをももたろう・スタートアップカフェ(ももスタ)で取り組みます。



● 企業立地推進事業

1億85百万円(1億84百万円)

地域経済の活性化や雇用の創出等のため、企業の本社や中四国支店等、IT・デジタルコンテンツ関連の事業所、製造工場、研究所、物流施設等の新規立地・拡充や、市内既存工場の設備投資・拠点強化を促進します。



● 雇用対策等事業

59百万円(29百万円)

市内中小企業等の人材確保を支援することで、企業活動の活性化を促進します。



● 中小企業設備投資等支援事業

1億円(40百万円)

拡充

生産性向上、競争力強化、デジタル化等の中小企業の事業継続を図る取組を力強く推進するため、事業者の設備投資・システム導入を支援します。



新規

● 岡山芸術創造劇場開館機運醸成による商店街の活性化

7百万円(7百万円)



岡山芸術創造劇場の整備を商店街誘客への好機と捉え、商店街を舞台とした劇場の開館機運を高める集客イベント等の実施を積極的に支援することで、普段商店街を訪れる機会が少ない人の誘客促進並びに商店街の魅力向上を図ります。

拡充

● 地域商業グループ活動支援事業 4百万円(4百万円)

地域商業者がグループを組織し取り組む当該グループの活動エリアの発展や賑わい創出に繋がる事業活動を支援し、地域商業者の売上向上を図ります。



拡充

● 歩いて楽しいまちなかの回遊性向上と賑わいづくり

2億4百万円(1億22百万円)



まちなかの回遊性向上や賑わいづくりに向け、官民連携による公共空間活用の推進、旭川を中心とした賑わいの拠点づくりに取り組みます。

- ・歩いて楽しいまちなかの空間創出
- ・緑のボリュームアップ
- ・旭川かわまちづくり
- ・西川魅力賑わい創出

新規

● 下石井公園の魅力向上事業(再掲) 38百万円(7百万円)

歩きたくなるまちづくりを推進するため、日常的に市民に親しまれ、多様な方々が憩い、滞在できる居心地の良い空間をつくり、まちの賑わい創出や魅力向上による回遊性の向上を図ります。

- ・下石井公園多目的広場の芝生化を実施



● 岡山駅前広場への路面電車乗り入れ整備事業



6億12百万円(96百万円)

公共交通ネットワークの要である岡山駅の交通結節点機能の強化や中心市街地の回遊性の向上を図るとともに、駅前広場の機能や魅力向上に資するものです。路面電車の乗り入れにより、電停のわかりやすさの向上、乗り換え時間の短縮、安全性の向上につながります。

- ・駅前広場整備及び交差点改良に係る整備工事等
- ・タクシーゾーン及び一般車ゾーン工事等

● 市街地再開発事業の促進 34億円(2億90百万円)

拡充

駐車場等の低・未利用地が多く分散している中心市街地において、土地の高度利用と都市機能の更新を進めるため、市街地再開発事業によって民間活力を後押しし、高次都市機能や居住機能の充実・強化を図ります。

- ・再開発事業対象地区
表町三丁目10番11番23番24番地区 ほか6地区



● 活力ある農業の振興 2億53百万円(63百万円)

拡充



新規就農者や意欲ある農業者への支援を行うとともに、農産物のブランド化を進め、持続可能で儲かる農業に向けた基盤づくりとともに競争力の強化を推進します。

- ・きめ細やかな新規就農サポート体制による支援
- ・経営改善に取り組む意欲ある農業者への支援
- ・農産物のブランド化に向けた取組
- ・中山間地域の農業生産活動への支援
- ・スマート農業推進モデル事業【新規】

● 有害鳥獣による農作物被害等への対策(イノシシ等)

拡充

有害鳥獣被害軽減のため、地域ぐるみでの効果的な対策を目指した専門家等による支援を実施するとともに、侵入防護柵設置助成、捕獲柵(檻)設置助成、捕獲活動を行う駆除班の活動支援、捕獲に対する助成を行い、総合的な対策を図ります。

1億円(63百万円)

- ・野生鳥獣被害実態調査の実施
- ・捕獲活動や被害防止対策への助成



拡充

● 岡山デスティネーションキャンペーン事業 96百万円(41百万円)



JRと地元自治体等が連携して行う大型誘客キャンペーン「岡山デスティネーションキャンペーン(DC)」の開催にあわせ、市内全域で誘客事業を実施します。

- ・吉備ロマン循環バスの運行
- ・備中高松城水攻めに関するVR等の発信と周遊イベント
- ・石山公園のライトアップ事業 など

拡充

● 日本遺産活用推進事業 2億51百万円(48百万円)

日本遺産に認定されている古代吉備の遺産群を舞台とした桃太郎伝説のストーリー及び構成文化財を活用して、国内外に魅力を発信し、地域の活性化を図ります。

- ・人気ゲームとタイアップした桃太郎のまち岡山創造発信事業
- ・史跡造山古墳群保存整備事業 など



拡充

● 移住定住促進事業 1億5百万円(67百万円)

移住・定住希望者に対し、ニーズに沿ったきめ細やかな情報の提供体制や移住相談・支援、移住後の支援体制の充実を図ります。

県や連携中枢都市圏域の市町等と連携し、本市への移住・定住を促進します。

- ・二拠点居住者等への住居費補助の新設
- ・岡山市移住・定住支援協議会による移住定住支援の取組の拡充



2 コンパクトでネットワーク化された快適で多様なまちづくり

R4予算額 ()書きは一般財源

● 土地利用の適正誘導 10百万円(10百万円)

人口減少下でも住み慣れた地域で暮らし続けられるとともに、持続的に発展できる都市を目指すため、土地利用の適正誘導を通じて、「コンパクトでネットワーク化された快適で多様なまちづくり」を推進します。

● 岡山西部総合公園(仮称)整備事業 77百万円(31百万円)

岡山操車場跡地の「総合公園区域」について、市民が憩い、楽しむ、緑あふれる総合公園として、また、災害時には防災拠点となる防災公園として整備を行います。

・芝生広場等整備



● 地域の未来づくり推進事業 1億84百万円(1百万円)

地域住民をはじめ、NPO法人や企業等の多様な主体による、地域活力の創出や生活サービスの維持を目指し、持続可能な「コミュニティビジネス」の創出など、様々な地域課題の解決に取り組む活動を支援します。

● 地域おこし協力隊事業 46百万円(46百万円)

人口減少・少子高齢化の進行により、地域活動を担う人材不足が懸念されていることから、「地域おこし協力隊」制度を活用し、三大都市圏をはじめとする都市地域から新たな人材を受け入れ、地域の活性化や課題解決の取組を促進します。



● バリアフリー推進事業(移動等円滑化促進) 30百万円(30百万円)

拡充

旅客施設や商業施設等の生活関連施設のある地区の重点的かつ一体的なバリアフリー化の推進を図ることを目的とした「岡山市バリアフリー基本計画」(令和3年度策定予定)に基づき、各種事業を推進していきます。

・上道駅のバリアフリー化に向けた調査検討 など

● 公共交通高齢者・障害者運賃割引事業 8億12百万円(4億29百万円)

高齢者等の日常生活を支える移動手段の確保が大きな課題となっていることから、自動車を運転できない高齢者や障害者の公共交通利用促進のため運賃割引を行います。



● 新たな生活交通の確保事業 20百万円(20百万円)

人口減少や高齢化が進展する中、公共交通不便地域において、高齢者等の日常生活を支える移動手段として、新たな生活交通を確保する取組を支援します。



- ・本格運行(5地区) 上道地域城東台・草ヶ部地区 ほか
- ・試験運行(1地区) 牧石学区牧山地区
- ・運行計画検討(3地区) 津高地域横井地区、山南地域朝日地区、山南地域幸島地区

● 自転車先進都市の推進 1億74百万円(1億51百万円)

誰もが自転車を“安全”で“快適”に“楽しく”使うことが出来る都市『自転車先進都市おかやま』の実現を目指し、「自転車先進都市おかやま実行戦略」の後継である「岡山市自転車活用推進計画」(令和3年度策定予定)に基づき、各種施策を推進していきます。



- ・自転車通行空間整備事業
- ・コミュニティサイクル事業
- ・自転車ルール・マナー関係事業 など



● 道路ネットワークの充実・強化 36億74百万円(2億30百万円)



中心市街地への流出入交通を適切に分散・誘導し、渋滞解消・交通混雑の緩和に資する外環状線・中環状線の整備や、企業立地・物流などの経済活動、観光コンベンションなどの広域交流を促進する環境を整えるため、高速道路等へのアクセス強化を引き続き重点的に取り組みます。

(都)下中野平井線

● 緑のボリュームアップ(再掲) 64百万円(64百万円)

拡充

歩きたくなるまちづくりを推進するため、街路樹や公園樹木の質、ボリュームを向上させる取組を実施します。

- ・市役所筋における街路樹更新、公園樹木再生案の検討
- ・街路樹再生プログラム(第2期)の策定に向けた検討



● 快適な住環境整備 9億71百万円(1億21百万円)

拡充

「岡山市住生活基本計画」に基づき、市営住宅の適切な維持管理を行い、また、住宅確保要配慮者の支援なども進めるとともに、「空家等対策計画」に基づき、所有者等による空家等の適正な管理に向けた自主的な取組を支援します。



● 瀬戸内市新火葬場(仮称)整備事業 1億68百万円(22百万円)



将来の火葬需要への対応と災害時等のリスク分散を図るため、瀬戸内市との広域的な連携による火葬場の整備を進めます。

3 歴史と文化が薫り、誇りと一体感の持てるまちづくり

R4予算額 ()書きは一般財源

拡充

● 岡山城の魅力アップ 11億3百万円(3億57百万円)

岡山城天守閣等の大規模改修により歴史と娯楽性を兼ね備えた岡山城の魅力アップを図るとともに、リニューアルオープンに向けて効果的なイベントやプロモーションを実施します。

- ・岡山城天守閣等大規模改修工事
- ・オープニングイベント等の実施
- ・史跡岡山城跡保存整備事業



拡充

● 文化財と観光の融合による新たな魅力づくり事業

3億21百万円(36百万円)

国指定史跡について、地下に埋没している遺構を復元・表示し、史跡を訪れた市民や観光客がその文化的価値を享受できる環境を整備し、効果的な情報発信を実施します。

- ・史跡造山古墳群保存整備事業(再掲)
- ・史跡大廻小廻山城跡整備事業
- ・史跡東大寺瓦窯跡整備事業
- ・史跡岡山城跡保存整備事業(再掲)
- ・歴史遺産を活用した観光誘客事業【新規】



新規

● 瀬戸内エリアへの観光誘客の推進事業 12百万円(8百万円)

令和4年度に開催される瀬戸内国際芸術祭等の大規模イベントを活用した瀬戸内エリアへの観光誘客と、それによる地域の活性化を図ります。

- ・観光案内所の設置
- ・岡山市・瀬戸内市観光連携事業
- ・犬島へのアクセス確保

● 高松城址公園の魅力向上事業 2百万円(0百万円)

「高松城の水攻め」などの歴史・文化資源である高松城址公園について、地域振興・観光拠点として魅力向上を図ります。
(一部2月補正前倒し予定)

- ・資料館の改築
- ・老木化した桜の更新

「このイメージパースは詳細設計中のものであり、今後変更の可能性があります。」



● 岡山芸術交流2022 1億40百万円(1億円)

岡山城・後樂園を中心とした歴史文化ゾーンにおける民間との協働による新たな魅力づくり、岡山市の新たな都市ブランドの構築及び若年層のまちづくり参加の促進等を目的に、3年に1度開催される国際現代美術展「岡山芸術交流2022」を開催します。



● 岡山芸術創造劇場ハレノワの整備 136億28百万円(18億5百万円)

新劇場の整備により、本市の文化力の向上を図るとともに、中心市街地の活性化、回遊性の向上など、まちの魅力アップや新たな賑わいの創出につなげます。



● おかやまマラソン 81百万円(81百万円)



「おかやまマラソン2022」を、市民・県民総参加のもとで「走る」「みる」「支える」大会として開催します。また、大会の開催を通じ、岡山市及び岡山県の魅力を発信し、観光誘客や産業振興につなげることにより、地域の活性化を図ります。

● トップチーム支援事業 25百万円(25百万円)

拡充

岡山市を拠点として活動するトップチーム(ファジアーノ岡山、岡山シーガルズ、岡山リベッツ、トライフープ岡山)が幅広く市民に浸透し、市民の誇りとなるよう、各種支援を実施します。



● トップアスリート交流促進事業 8百万円(8百万円)

東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた取組の成果を一過性で終わらせず、今後のスポーツ振興や地域振興に活かすため、ナショナルチーム等のキャンプ誘致補助事業やオリンピック・パラリンピアン等との交流事業に取り組みます。

● 多目的屋内施設(アリーナ)に関する基礎調査 5百万円(5百万円)

新規

多目的屋内施設(アリーナ)の必要性を適正に把握・判断するために基礎調査を実施します。

4 安心して子育てができ、若者や女性が輝くまちづくり

R4予算額 ()書きは一般財源

● **子育て環境の施設整備推進事業 11億46百万円(2億75百万円)**

幼稚園と保育所を一体化し、良質な就学前教育・保育を等しく提供できる子育て環境の確保を図ります。

- ・市立認定こども園整備(3園)
- ・市立施設の民営化に伴う施設整備(4園)



● **保育士確保対策 4億59百万円(3億92百万円)**



待機児童の解消及び保育の質の向上のため、喫緊の課題である保育士の確保を推進します。

- ・民間保育士等処遇改善事業
- ・保育士宿舍借り上げ支援事業
- ・奨学金返済支援事業
- ・保育支援者配置助成事業費補助金

● **放課後児童健全育成事業 29億13百万円(7億38百万円)**

拡充

保護者が労働等により昼間家庭にいない、小学校に就学している児童に対し、授業の終了後や長期休暇中等に適切な遊び及び生活の場を提供し、その健全な育成を図ります。

- ・市立の放課後児童クラブ(66クラブ)の運営
- ・届出済民間クラブへの助成【新規】 など



● **子ども医療費助成事業 22億31百万円(22億31百万円)**

拡充

子どもに係る医療費の一部を支給し、子どもの健康の保持及び増進に寄与するとともに児童福祉の向上を図ります。

- ・子ども医療費助成
- ・子ども医療費助成のあり方検討【新規】

拡充

● 医療的ケア児等の受入体制の整備 20百万円(8百万円)

認定こども園・幼稚園等において、医療的ケアを必要とする子どもの受入ができる体制の整備を図ります。

- ・医療的ケア児受入に関するガイドラインの作成
- ・公立園において医療的ケア実施体制を確保
- ・医療的ケア児保育支援事業補助金

拡充

● 困難を抱える子どもとその家庭への支援

10億98百万円(9億96百万円)

子どもの将来が、貧困などその生まれ育った環境に左右されることのないよう、また、困難が世代を超えて連鎖することのないよう、必要な環境整備を図ります。

- ・子どもの学習サポート事業【拡充】
- ・子どもの居場所づくり促進事業【拡充】
- ・岡山市奨学金給付事業
- ・就学援助費支給事業



● 児童虐待防止の推進 11百万円(5百万円)

児童虐待防止の観点から、在宅で見守りをしているケースへの支援を強化するとともに、虐待の再発を防止し児童が家庭で生活できる環境の整備を図ります。

拡充

● ヤングケアラーへの支援 32百万円(9百万円)

ヤングケアラーを正しく理解・認識できるように、子どもや周囲の大人、関係機関に周知啓発を行い、また、連携して支援ができる体制の整備を図ります。

- ・ヤングケアラーについての周知啓発
- ・多機関協働事業【拡充】



● 女性が輝くまちづくり事業 16百万円(7百万円)



女性の力が社会の中で最大限に発揮できる環境づくりを進めるため、性別等に関わらず市民一人ひとりの個性が社会のあらゆる場面でいかされる男女共同参画社会の実現に向けた取組等に加え、女性の活躍を応援する取組を進めます。

- ・困難を抱える女性への支援【新規】 など

● 学生イノベーションチャレンジ推進プロジェクト 10百万円(10百万円)

大学生の人口比率が高い岡山市の強みをいかして、大学生等が、新たな商品やサービス等の開発を目指すスモールビジネスや地域課題の解決を目指すソーシャルビジネスにチャレンジする取組を支援し、地域づくりの次代を担う人材が地域に住み続け、活躍するまちづくりを目指します。

- ・学生イノベーションチャレンジ推進事業
- ・専門コーディネーターによる各活動における相談支援



5 つながる教育で未来を拓く人材を育むまちづくり

R4予算額 ()書きは一般財源

● 魅力ある授業づくり推進事業 2億66百万円(2億46百万円)

拡充

学力調査や質問紙調査を効果的に活用して学習指導と生徒指導の両面から児童生徒を理解し、よりよい授業づくりを進めることで、第2期岡山市教育大綱で目指す「5つの力」を育成します。

- ・学びづくり推進プロジェクト
- ・英語教育推進事業



● 問題行動等の防止及び解決に向けた総合支援事業

拡充

4億95百万円(4億52百万円)

子どもたちが安心して学校生活を送れるように、支援を必要とする子どもやその保護者に対して、相談や援助を行います。

- ・生徒指導関係事業
- ・特別支援教育支援員配置事業
- ・不登校児童生徒支援員配置事業
- ・スクールカウンセラー配置事業



● 夜間中学設立準備検討事業 1百万円(1百万円)

新規

義務教育を受けることができなかつた方に対する学ぶ機会の保障に取り組みます。学び直しを希望する方のニーズを把握したうえで、令和7年度までの「夜間中学」の設立を検討します。

● 学校給食費の公会計化 8百万円(8百万円)

拡充

教職員が本来の専門性を活かし、子ども一人一人と向き合う時間等を確保するため、学校単位で行っている給食会計を公会計化します。



岡山市教育委員会広報専門官 こらぼん♪

拡充

● GIGAスクール構想によるICT活用支援事業

2億61百万円(2億61百万円)



GIGAスクール構想で1人1台端末等を整備した学校に対して、ICTの円滑な活用が行われるようにするための人的支援や運用支援を行います。

- ・学校へ訪問・支援を行うICTに知見を有する人材の配置
- ・ICTを活用した教育活動の充実
- ・1人1台端末利用の環境整備や端末持ち帰りに係る支援

● 新岡山学校給食センター(仮称)整備事業 1億58百万円(20百万円)

老朽化し耐震基準を満たしていない岡山学校給食センターの移転建替えを行います。

- ・土地造成
- ・PFI事業実施方針や要求水準書等の作成・公表

● 山南学園整備事業 1億36百万円(3百万円)

令和4年4月に開校予定の山南学園の教育環境の向上を図るため、渡り廊下を新設します。また、開校記念式典を実施し、その事業を広く周知します。



● 公民館整備事業 54百万円(6百万円)

「岡山市公共施設等総合管理計画」に基づき、耐震基準を満たしていない公民館の整備を実施します。

- ・岡山中央中学校区公民館(仮称)を旭公民館と岡山中央中学校武道場との複合化により整備

● 学校空調設備(特別教室)に関する基礎調査 2百万円(2百万円)

新規

児童生徒などの熱中症対策及び、学習環境の改善のため特別教室への空調設備のあり方や優先順位の検討を行うため基礎調査を実施します。

6 理解を深め合い、ともに築く市民主体のまちづくり

R4予算額 ()書きは一般財源

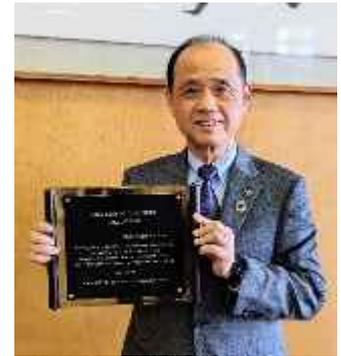
拡充

● SDGs未来都市・岡山ESDプロジェクト推進事業

33百万円(33百万円)

持続可能な社会づくりを目指し、市域全体におけるSDGsの理解促進のため、関連組織等と連携して、SDGsの学びの場や機会を設けます。また、ESDの啓発活動や情報発信、活動団体の支援などにより、活動の拡大と質の向上に取り組み、SDGsの達成に貢献します。

- ・SDGs登録認証制度の実施及び広報【新規】
- ・「未来わくわくSDGsフェスタ」(SDGs普及啓発イベント)の実施
- ・SDGs守ろう！海・川プロジェクト事業の実施
- ・岡山ESDプロジェクト参加団体の活動に対する補助 など



アジア・太平洋
学習都市連盟
最優秀都市賞
受賞

● 区まちづくり独自企画事業 10百万円(10百万円)

身近なまちづくりや地域課題の解決に取り組むために、それぞれの区の地域資源や特色を活かして、各区のまちづくりを推進します。

- ・北区 北区の建築・アートの世界魅力再発見事業
- ・中区 地域の大学と区役所の包括連携による地域づくり事業
中区の水源 百間川再発見事業
- ・東区 写真等による東区の魅力発信事業
- ・南区 南区地域防災力強化事業
南区魅力アップ事業



7 住み慣れた地域で安心して暮らせる健康・福祉のまちづくり

R4予算額 ()書きは一般財源

● 健康づくりと生涯活躍推進事業 1億35百万円(41百万円)

拡充

「AIを活用した市民の将来疾病リスクの見える化」、「SIB(※)を活用した民間等のヘルスケアサービスの提供と市民の利用促進」、「生涯活躍のための就労支援」を一体的に行うことで、「健康の好循環」を促進します。

※SIB(ソーシャル・インパクト・ボンド)・・・民間事業者が、出資・融資等の資金調達により事業実施し、事前に定めた成果指標の達成状況に応じて市が事業費を支出するもの。



● フレイル対策事業 8百万円(1百万円)

高齢者が要介護状態に陥ることを予防することを目的に、薬局など市民の身近な場所でフレイルチェックを実施し、介護予防の取組につなげます。



● 在宅介護総合特区推進事業 64百万円(9百万円)

在宅に特化した総合特区を推進し、将来負担の抑制・産業振興・地域包括ケアの実現を目指すとともに、超高齢社会における持続可能な社会経済モデルの構築を進めます。



介護ロボット(パロ)

● 在宅医療介護連携推進事業 41百万円(20百万円)

拡充

市民が住みなれた地域で最期まで安心して暮らすことができるように、在宅医療・介護の推進に向けた取組をさらに発展させるとともに、最適な地域医療システムを構築し、予防、診療から介護まで切れ目のないサービスを受けられる仕組みづくりに取り組みます。



● 認知症サポーター活動促進事業 7百万円(1百万円)

新規

認知症の人の悩みや家族の身近な生活支援ニーズ等と支援者をつなぐ仕組み(チームオレンジ)を構築します。



● 生活支援サービス体制整備事業 92百万円(18百万円)

高齢者の在宅生活を支えるために、多様な主体による生活支援等サービスが提供可能な体制づくりを支援します。



● ナッジ理論を活用した受診勧奨事業 10百万円(0百万円)

拡充

生活習慣病有リスク者の早期発見のため、健診未受診者に対してナッジ理論を活用して個々の特性にあった内容の通知を送付し、健診受診率向上に取り組みます。

● 犬島オンライン健康相談等モデル事業 2百万円(0百万円)

新規

犬島超高速ブロードバンド整備事業の利活用(DX推進計画)の一環として、島内にタブレット端末等の通信機器を整備し、犬島における医療・福祉サービスの充実を図ります。



● 地域共生社会の推進(重層的支援体制整備事業)

拡充

15億38百万円(3億49百万円)

複雑化・複合化した課題を抱えた世帯に対して、市の関係課・相談機関が連動して支援を行う総合相談支援体制づくりに加えて、「参加支援」「地域づくりに向けた支援」を一体的に実施することで、地域共生社会のさらなる推進を図ります。

- ・包括的相談支援事業
- ・参加支援事業【拡充】
- ・地域づくりに向けた支援事業【拡充】
- ・アウトリーチ等を通じた継続的支援事業【拡充】
- ・多機関協働事業【拡充】
- ・支援プランの作成【拡充】



● 障害者基幹相談支援センター事業(再掲) 78百万円(22百万円)

障害者や家族が安心して生活ができるよう、障害福祉の相談支援体制を充実強化します。

● 障害者就労支援事業 23百万円(19百万円)

障害者の自立と社会参加の重要な柱となる就労に向けて、障害者とその適性や能力に応じた多様な働き方を選択できるように、一般就労と職場定着を支援するとともに、一般就労が困難な障害者が働く障害者就労施設における工賃向上を支援します。



拡充

● 伴走型社会参加支援事業(再掲) 68百万円(23百万円)

地域共生社会の実現のために重層的支援体制整備事業の取組として、生活困窮者だけでなく子ども・障害・高齢分野の方も対象とした伴走型の社会参加支援として支援付きの就労推進やアウトリーチ支援に取り組んでいきます。

- ・支援付就労推進事業【新規】
- ・就労準備支援事業【拡充】

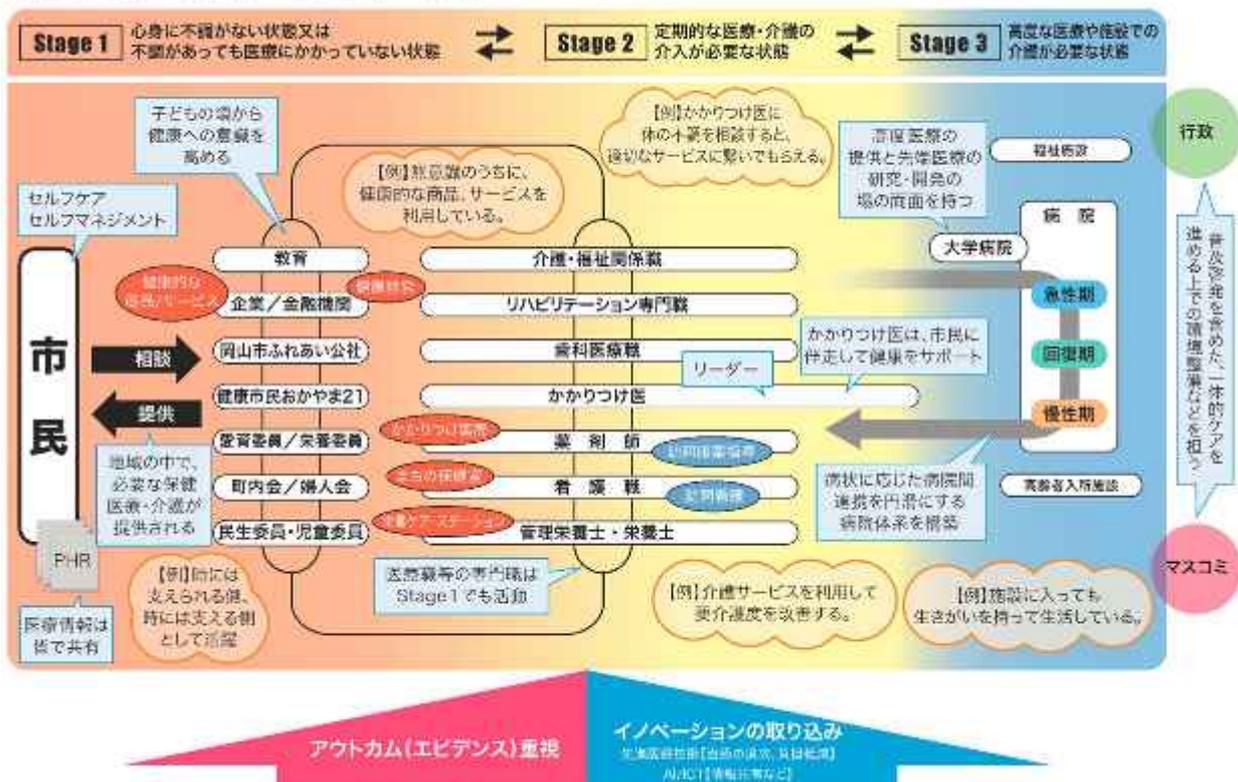


岡山の保健医療の目指すべき姿「Positive Health Okayama」を宣言します

Positive Health Okayama とは

子どもからお年寄りまで、病気や障害などの有無に関わらず生きがいを持ち活躍できる社会をみんなで目指すこと

私たちが目指す2030年の姿



8 地域の力をいかした災害に強く安全・安心なまちづくり

R4予算額() 書きは一般財源

● 地域防災力強化事業 3億13百万円(55百万円)

自主防災組織を中心とした地域防災活動への支援のほか、災害の激甚化及び感染症対策を踏まえた備蓄物資保管場所を確保し、地域の防災力強化を図ります。

- ・自主防災組織の訓練や個別避難計画作成などの活動経費を助成
- ・個別避難計画の作成を進めるため、説明会の実施及び、福祉専門職等へ作成を委託【拡充】
- ・南区集中備蓄倉庫及び、分散備蓄倉庫を整備



● DXを活用した防災力の強化事業 16百万円(16百万円)

新規

DXの活用により、市民への迅速な情報提供と利便性の向上、業務効率化を図ります。

- ・Webハザードマップの作成
- ・避難情報発令システムの導入



● 下水道・河川等による浸水対策事業 36億13百万円(1億39百万円)

拡充

平成30年7月豪雨による広範囲の浸水被害を受け、平成31年4月に見直した岡山市浸水対策基本計画及び行動計画に基づき、下水道や河川の整備を進めるとともに、既存ストックを活用した対策や、市民、事業者と連携した総合的な浸水対策に取り組みます。

- ・今保・白石ポンプ場建設工事
(令和5年度供用予定)
- ・浦安11号幹線(1工区)雨水管築造工事
(令和6年度供用予定)
- ・既存ストックの活用、機能保全強化
- ・事業者へ雨水流出抑制施設設置、市民等へ止水板設置などの助成 など



今保ポンプ場建設イメージ



浦安11号幹線雨水管 施工状況(令和4年1月)

● 新庁舎整備事業 5億44百万円(0百万円)



本庁舎は建設から約50年が経過し、老朽化が進むとともに耐震基準も満たしていません。災害対応の中心となる防災拠点として機能強化するだけでなく、さらなる行政サービスの向上と事務の効率化を図るため、建替えによる整備を進めます。(令和8年度供用開始予定)

- ・鹿田町駐車場解体工事
- ・新庁舎建設工事着工

「このイメージパースは基本設計時点のものであり、今後変更の可能性がります。」

● 道路施設の長寿命化事業 14億64百万円(2億46百万円)

道路施設の老朽化が進み、今後一斉に更新時期を迎える状況を鑑み、適切な点検と評価に基づく補修や補強を計画的に実施することにより、道路施設の長寿命化を図るとともに、費用の低減・平準化を図ります。

● 用水路等転落防止対策事業 2億10百万円(2億10百万円)

市民が用水路等へ転落することによる死傷事故が度々発生しており、用水路等の転落に対する安全対策の実施が急務となっています。地元や警察とも連携し、用水路等の危険箇所に対する安全対策を集中的に実施します。

【対策前】



【対策後】



● がけ地近接等危険住宅移転事業 25百万円(6百万円)

新規

がけ地の崩壊等により、住民の生命に危険を及ぼす恐れのある区域に建っている危険住宅の、安全な場所への移転を支援します。

- ・土砂災害特別警戒区域に存する既存不適格なものなどの危険住宅の除却費等と、新築する住宅の建設等に要する経費を補助

● 水道施設・管路耐震化等更新事業 86億75百万円(47億76百万円)

市民のライフライン確保という重要な役割を果たすため、水道施設や管路の更新及び災害対策を推進し、安定供給の継続を図ります。

- ・激甚化する災害に備えた水道施設・管路の強靱化
- ・水道施設・管路の計画的更新



● 下水道施設の耐震化・再構築(リノベーション)事業

拡充

38億43百万円(1億36百万円)

市民生活に重大な影響を及ぼす下水道施設の機能停止などを未然に防止するため、下水道施設の改築更新、耐震化を行います。また、将来の改築事業費の削減等を図るため、施設の統廃合など下水道施設の再構築(リノベーション)を進めます。

- ・岡南ポンプ場、旭西排水センター、金岡ポンプ場の設備更新及び耐震化
- ・笹ヶ瀬ポンプ場、天瀬ポンプ場の設備更新
- ・緊急輸送道路等下のマンホールの浮上防止対策工事
- ・旭西処理区の管渠の改築工事 など



旭西管理棟建替イメージ



岡南ポンプ場建替イメージ

● 消防署所適正配置事業 8百万円(3百万円)

増加する救急需要と多様化する各種災害に的確に対応するため、消防力のバランスに配慮した適正な場所に消防署所を配置及び維持管理し、いついかなる時も、求める人すべてに等しく、より安心で質の高い消防サービスを提供します。

- ・消防局総合計画(消防署所適正配置)及び消防局個別施設計画に基づき、南消防署妹尾出張所を南区妹尾地内に建替整備

● 水難救助訓練施設整備事業 24百万円(3百万円)

消防職団員の災害対応力の向上、安定した水難救助訓練環境の確保及び市民の防災意識向上のため、模擬体験可能な風水害体験施設を備えた水難救助訓練施設を整備します。



京都市消防局 提供

● 消防団員処遇改善事業 3億10百万円(3億10百万円)

拡充

減少傾向にある消防団員の確保のため、報酬を改正し、処遇改善を行います。



● 防犯灯設置支援事業 30百万円(30百万円)

犯罪や交通事故を未然に防止し、安全で安心なまちづくりを推進するため、防犯灯を設置及び取替する町内会に対して、費用の一部を補助します。



9 豊かな自然と調和した市民の手による持続可能なまちづくり

R4 予算額 () 書きは一般財源

● 地球温暖化対策事業 5億28百万円(4億90百万円)

拡充

脱炭素社会の実現に向けて、市民や事業者等と連携し、再生可能エネルギーの導入促進や省エネルギーの推進、環境にやさしいライフスタイルや事業活動への転換等に取り組み、温室効果ガスの排出削減を図ります。

- ・岡山市域における脱炭素先行地域調査【新規】
- ・家庭から排出されるプラスチック資源を分別回収し、中間処理の実施後、再生処理
- ・周辺市町や産学等を交え、脱炭素社会の実現に向けた具体的な取組を研究(ゼロカーボン研究会の開催) など

● 道路照明灯LED化事業 63百万円(63百万円)

大半が更新時期を迎えている道路照明灯について、民間事業者の資金、技術力を活用(※ESCO事業)し、従来型の照明灯を早期にLED化することにより、ランニングコスト、電気料金、温室効果ガス排出量の削減を図ります。

※ ESCO事業・・・道路照明灯をLED化することで得られる光熱水費等の削減分をもってLED灯への交換や維持管理に係る経費を賄う事業形態



既設 道路照明灯



LED道路照明灯

● ごみ処理広域化処理施設整備・運営事業

拡充

13億78百万円(11億71百万円)

老朽化した岡南環境センターを更新し、ダイオキシン類削減対策やサーマルリサイクルの促進等を図るため、2市1町の可燃ごみを処理する施設を岡南環境センター敷地に整備し、20年間運営することで、安全・安心で安定的なごみ処理を実現します。

- ・玉野市、久米南町と連携し、岡山市が主体となって広域的なごみ焼却処理施設の建設
- ・岡南環境センター解体中の岡山市可燃ごみ市外処理



広域処理施設イメージ

10 圏域をリードし、都市の持続的発展を支える都市経営

R4予算額 ()書きは一般財源

● 情報発信力の向上 26百万円(26百万円)

新規

市政に関心を持ち、理解を深めていただけるよう、施策の目的や考え方・効果などを各種媒体を通して、分かりやすく、広く市民に発信します。

- ・市の施策について、テーマごとに動画を作成し、テレビCMや市公式YouTubeなどにより発信

● 業務改革推進事業 22百万円(22百万円)

新規

全庁業務量調査で抽出された課題のある業務のプロセスを1から見直すこと(BPR)により、職員負担の軽減、人為的ミスの削減、住民サービスの維持・向上等を目指します。



● 区役所窓口のスマート化事業

(業務見直し(BPR)に基づく区役所窓口業務改善事業) 5百万円(5百万円)

混雑期の解消を図るとともに、将来的にスマートな窓口への実践例となるよう、ICTの活用により、窓口業務の改善を図ります。



● 外部人材活用事業 10百万円(10百万円)

拡充

企業等の最前線で活躍し、高い専門性を持った人材を登用することで、既存の行政の考え方や枠組みに捉われない柔軟な発想やアイデアにより、多様化・複雑化する行政課題の解決を図ります。

- ・新たな課題に対応するため活用分野を拡充

● 岡山市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進

245億49百万円(63億39百万円)

人口減少・少子高齢化という課題に対応し、自立した活力ある地域社会を創生するため「岡山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる基本目標の下、具体的施策の着実な推進を図ります。

4つの基本目標及び具体的施策

- | | |
|--------------------------------------|---------------------|
| ■ <u>岡山市の強みを活かし、安定した雇用と活力を創出する</u> | 23億65百万円(13億37百万円) |
| ・新たな雇用と成長を促す戦略的な産業の振興 | |
| ・歴史文化資源等を活かした観光誘客の促進 | |
| ・活力ある農業の振興 | |
| ・地域の活力を担う人材の育成・確保 | |
| ■ <u>岡山市への新しい人の流れをつくる</u> | 1億15百万円(77百万円) |
| ・移住・定住の促進 | |
| ・地元大学等との連携 | |
| ■ <u>若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる</u> | 48億97百万円(15億30百万円) |
| ・保育所・放課後児童クラブへの入所待機児童の解消 | |
| ・結婚・出産・子育て支援 | |
| ・ワーク・ライフ・バランスと女性の活躍推進 | |
| ■ <u>安全・安心に暮らせるまちをつくり、地域と地域を連携する</u> | 171億72百万円(33億95百万円) |
| ・コンパクトでネットワーク化された活力あふれるまちづくり | |
| ・地域連携の推進 | |
| ・健康寿命の延伸と豊富な医療・介護資源を生かした地域づくり | |
| ・安心に暮らせる地域づくり | |
| ・地域の課題解決のための持続可能な取組 | |

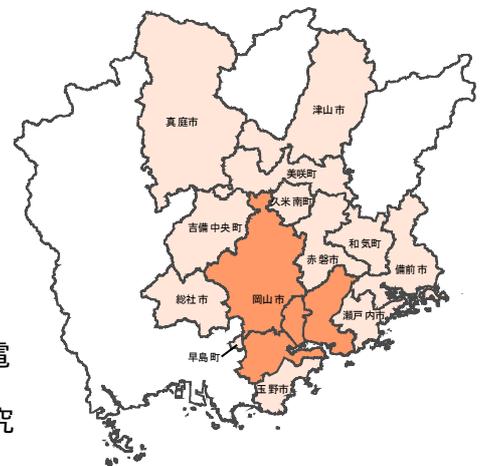
● 岡山連携中枢都市圏ビジョンに基づく連携取組の推進

196億70百万円(24億75百万円)

人口減少・少子高齢社会にあっても地域を活性化し、経済を持続可能なものとし、圏域住民が安心して快適な暮らしを営んでいけるよう、「岡山連携中枢都市圏ビジョン」に掲げる連携取組の着実な推進を図ります。

令和4年度の連携事業(例)

- | | |
|---|--|
| ■ <u>圏域内周遊に向けた観光資源発信</u> | |
| ・宇喜多家ゆかりの地に関する周遊事業の実施 | |
| ・岡山 destinations キャンペーン期間中、犬島や牛窓など瀬戸内エリアへの観光誘客事業を実施 | |
| ・日本遺産を活用したプロモーション、観光客受入環境の整備 | |
| ■ <u>JRの利用促進と駅機能強化</u> | |
| ・圏域内外との人やモノの円滑な交流促進に向けた結節機能強化を図るため、岡山駅前広場を整備 | |
| ■ <u>気候変動対策</u> | |
| ・2050年二酸化炭素排出実質ゼロに向けた啓発事業や太陽光発電設備等共同購入事業等の共同実施 | |
| ・産学等を交えたゼロカーボン研究会を開催し、具体的な取組を研究 | |
| ■ <u>風水害対応力の向上</u> | |
| ・災害に強い圏域づくりに向け、風水害体験施設を備えた水難救助訓練施設を整備 | |
| ■ <u>移住促進連携</u> | |
| ・おかやまぐらし相談センターの運営及び移住相談会、移住下見ツアーの実施 | |



お知らせ

ふるさと納税（岡山市まちづくり人づくり応援寄附金）

- 岡山市では市へご寄附いただいた方に、市の特産品等をお届けしています。
- 寄附金は「地域経済」「女性・子育て」「防災・安全・安心」などに活用しています。

人気の返礼品



白桃

岡山を代表する白桃をお届けします。白桃ならではのなめらかな口当たり、甘さが特徴です。



マスカット

甘くさわやかな香りがひろがり、その高貴な味わいは果物王国岡山を象徴する特産品です。



岡山みにたると

岡山ジャージー牛乳で作るクリームとさくさく生地が相性抜群の岡山スイーツです。



これらは返礼品の一例です。
皆様方からのご寄附をお待ちしています！

岡山市へのご寄附はこちら <https://www.city.okayama.jp/kurashi/0000004111.html>

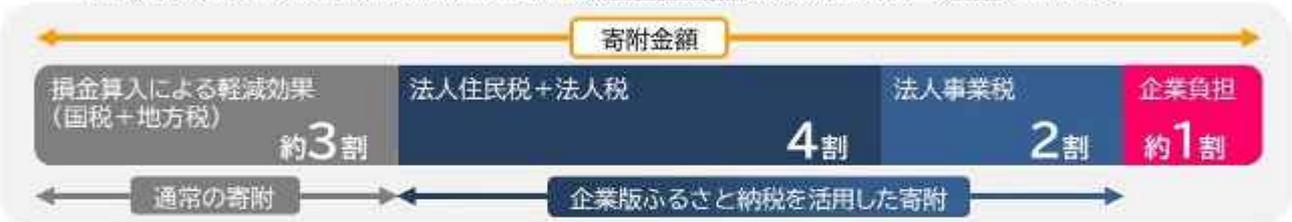
※岡山市内にお住まいの方への返礼品贈呈は行っておりません。ご注意ください。 お問い合わせ先:税制課 086-803-1166

お知らせ

企業版ふるさと納税 ～「岡山市の地方創生」にご協力をお願いします～

【企業版ふるさと納税とは？】

- ・本社が岡山市外にある企業が、対象となる事業に寄附を行うと、税額が控除される制度です。
- ・1事業10万円から寄附が可能で、寄附金額の最大約9割が法人関係税から控除されます。



ご寄附いただいた企業の首脳は、SDGs等に積極的に取り組む企業として様々な場面でご紹介させていただきます。

(一例) イベントホスターやチラシ



区役所・岡山駅地下等デジタルサインエージ掲示



感謝状贈呈式



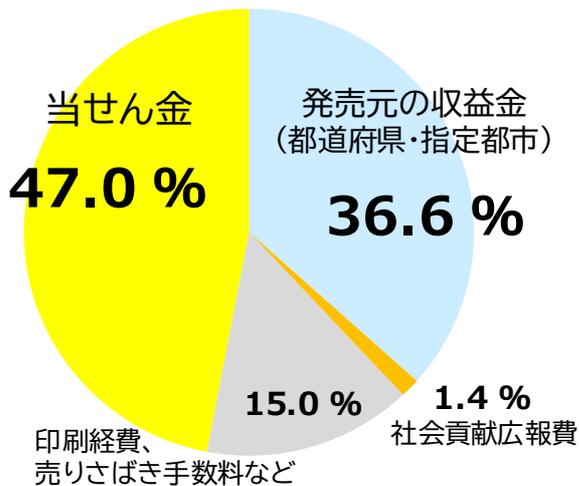
岡山市HP <https://www.city.okayama.jp/shisei/0000016573.html>

お問い合わせ先:政策企画課 086-803-1043

お知らせ

宝くじは身近なまちづくりに役立てられています

ご存じですか？ 宝くじ一枚の中身



「2021宝くじのしおり」より

宝くじは、岡山県内で買ってね！



クーちゃん

岡山県内で販売された宝くじの収益金は、岡山県及び岡山市の収入になります。収益金は、道路整備などの公共事業のほか、災害対策や子育て支援など、市民のみなさまの暮らしに役立てられています。



市道藤田浦安南町線 笹ヶ瀬令和橋 (道路整備事業)

お知らせ

市民一人当たりの予算額は・・・

一般会計予算(案)を市民 約70万4,000人で割ると



市民一人
当たり

合計 50万1,000円

市民一人当たりの市税
18万7,000円

6 予算編成過程の見える化

(1) 当初予算要求額に対する当初予算額(案)一覧

令和4年1月18日に公表した当初予算要求額に対する当初予算額(案)は以下のとおりです。

I 会計別予算額

(単位:百万円)

区 分	令和4年度 当初要求額 (A)	令和4年度 当初予算額(案) (B)	令和3年度 当初予算額 (C)	増 減 額 (B)-(C)	(参 考) (B)-(A)
一 般 会 計	360,738	352,947	344,060	8,887	△ 7,791
特 別 会 計	195,984	195,946	192,893	3,053	△ 38
事 業 会 計	79,314	77,394	76,262	1,132	△ 1,920
合 計	636,036	626,287	613,215	13,072	△ 9,749

II 一般会計(款別)予算額

(単位:百万円)

区 分	令和4年度 当初要求額 (A)	令和4年度 当初予算額(案) (B)	令和3年度 当初予算額 (C)	増 減 額 (B)-(C)	(参 考) (B)-(A)
議 会 費	1,140	1,140	1,149	△ 9	0
総 務 費	41,099	40,120	34,297	5,823	△ 979
民 生 費	141,384	140,789	135,911	4,878	△ 595
衛 生 費	29,588	26,729	27,609	△ 880	△ 2,859
労 働 費	309	309	325	△ 16	0
農 林 水 産 業 費	6,746	7,153	6,502	651	407
商 工 費	3,387	3,327	3,127	200	△ 60
土 木 費	43,908	42,957	41,983	974	△ 951
消 防 費	8,567	8,642	8,839	△ 197	75
教 育 費	50,320	47,491	49,667	△ 2,176	△ 2,829
災 害 復 旧 費	0	0	0	0	0
公 債 費	34,090	34,090	34,451	△ 361	0
予 備 費	200	200	200	0	0
合 計	360,738	352,947	344,060	8,887	△ 7,791

Ⅲ 特別会計・事業会計予算額

ア 特別会計予算額

(単位:百万円)

区 分	令和4年度 当初要求額 (A)	令和4年度 当初予算額(案) (B)	令和3年度 当初予算額 (C)	増 減 額 (B)-(C)	(参 考) (B)-(A)
国民健康保険費	67,289	67,280	67,405	△ 125	△ 9
用品調達費	45	45	53	△ 8	0
災害遺児教育年金事業費	15	15	13	2	0
公共用地取得事業費	150	150	129	21	0
財産区費	18	18	19	△ 1	0
学童校外事故共済事業費	14	14	12	2	0
母子父子寡婦福祉資金貸付事業費	170	170	165	5	0
介護保険費	69,188	69,159	67,494	1,665	△ 29
後期高齢者医療費	11,454	11,454	10,297	1,157	0
公債費	45,189	45,189	45,581	△ 392	0
岡山市立総合医療センター病院事業債	2,452	2,452	1,725	727	0
合 計	195,984	195,946	192,893	3,053	△ 38

○主な増減(対前年当初予算比)

介護保険費 介護保険給付費の増 +2,174

後期高齢者医療費 広域連合納付金の増 +1,116

イ 事業会計予算額

(単位:百万円)

区 分	令和4年度 当初要求額 (A)	令和4年度 当初予算額(案) (B)	令和3年度 当初予算額 (C)	増 減 額 (B)-(C)	(参 考) (B)-(A)
病院事業会計	170	170	80	90	0
水道事業会計	26,170	25,900	25,434	466	△ 270
工業用水道事業会計	275	266	411	△ 145	△ 9
市場事業会計	1,177	1,177	1,032	145	0
下水道事業会計	51,522	49,881	49,305	576	△ 1,641
合 計	79,314	77,394	76,262	1,132	△ 1,920

○主な増減(対前年当初予算比)

水道事業会計 水道施設・管路耐震化等更新事業の増 +174

下水道事業会計 下水道施設の耐震化・再構築事業の増 +293

※事務事業別の要求・査定状況は、別紙2のとおり

(2) 市長査定項目一覧

予算要求段階以降、直面する課題への対応をふまえ、市長の最終的な判断により予算化したものは以下のとおりです。

(単位:千円)

事業名	内容等	市長査定額	最終予算額
■ウィズコロナ・アフターコロナ対応			
次期作継続応援金 (米販売農家・ノリ養殖漁業者)	感染症による価格下落の影響を受ける米販売農家及びノリ養殖漁業者の経営継続のため、次期作継続への補助金を支給	473,500	473,500
中小企業支援事業費補助金 (設備投資)	感染症の影響により、売上が減少した事業者の設備投資を支援	60,000	60,000
■街を楽しむ			
緑のボリュームアップ	歩きたくなるまちづくりを推進するため、街路樹や公園樹木の質、ボリュームを向上させる取組を実施(街路樹再生プログラム第2期選定調査【西大寺エリア、北長瀬エリア】)	4,000	64,000
下石井公園の魅力向上事業 (まちなかウォークアブルの推進)	日常的な憩いの場となるよう、多目的広場の芝生化による下石井公園の魅力向上。速やかな整備に取り組むため工事費を追加	30,000	47,700
多目的屋内施設(アリーナ)に関する基礎調査	多目的屋内施設(アリーナ)の必要性を適正に把握・判断することを目的として、基礎調査を実施	5,000	5,000
■産業・観光の振興			
岡山城の魅力アップ	岡山城天守閣等の大規模改修により歴史と娯楽性を兼ね備えた岡山城の魅力アップを図る事業の中で、来訪者などの満足度を高める岡山城デジタルコンテンツを制作	12,000	12,000
スマート農業推進モデル事業	ハウス内環境制御のデジタル化による、省力化・高品質化を実現	5,250	5,250
■子育て・教育			
子ども医療費助成のあり方検討	助成対象や負担のあり方について、関係者(医師、保護者等)に意見聴取を行う検討会を開催	1,000	1,000
ヤングケアラーへの支援	子どもや周囲の大人、関係機関に周知啓発を行う。また、連携して支援を行う体制を強化(ヤングケアラーについての周知啓発、多機関協働事業)	2,500	31,730
医療的ケア児等の受入体制の整備	認定こども園・幼稚園・小学校等において、医療的ケアを必要とする子どもの受入ができる体制の整備	25,410	25,410
届出済民間クラブへの助成 (放課後児童健全育成事業)	増加する待機児童の解消を図るため、届出済民間クラブに対する助成を実施	27,920	27,920
学校空調設備(特別教室)に関する基礎調査	特別教室の空調設備のあり方や、その優先順位を検討するため基礎調査を実施	2,000	2,000
■地球温暖化対策			
岡山市域における脱炭素先行地域調査	大学等と連携し、脱炭素先行地域の申請に必要な調査や検討を実施	14,000	14,000
■安全・安心なまちづくり			
消防団員処遇改善事業	減少傾向にある消防団員の確保のため、報酬を改正し、処遇を改善	98,900	310,000
■PHO(Positive Health Okayama)			
SIBを活用した健康ポイント事業 (続!おかやまケンコー大作戦)	市民の健康づくりの習慣化を促進するため「運動」「栄養・食生活」「社会参加」を促すイベント等を開催し、参加状況等に応じて抽選で特典を付与(インセンティブ事業)	10,000	48,305
■情報発信力の向上			
情報発信力の向上	市政に関心を持ち、理解を深めていただけるよう、施策の目的や考え方・効果などを動画の活用等により、分かりやすく、広く市民に発信	26,000	26,000
合 計		797,480	1,153,815

(3) 国の補正予算等に伴う前倒し実施予定事業一覧

国の補正予算等への対応に伴い、以下の事業については、令和4年度予算から、令和3年度2月補正予算への前倒し実施を予定しています。

事業名	内容等
マイナンバーカード普及促進・マイナポイント事業	マイナンバーカードの普及促進に要する経費
転出届・転入予約オンライン化事業	マイナンバーカード所持者の転出届・転入予約のオンライン化事業に要する経費
新型コロナウイルス感染症対策事業	PCR検査、受診相談センターの運営、保健所への専門職派遣等に要する経費
自殺防止対策の強化	若年層への自殺予防対策に要する経費
特定不妊治療費助成事業	不妊治療の助成に要する経費（経過措置分）
妊産婦乳児健康診査	不安を抱える妊婦への分娩前のPCR検査に要する経費
児童福祉施設等の感染拡大防止事業	マスク、消毒液等の助成に要する経費
児童福祉施設等のICT化推進事業	ICT化に対する助成に要する経費
団体営土地改良事業	農業水利施設の整備に要する経費
自転車通行空間整備事業	自転車通行空間の整備に要する経費
高松城址公園資料館整備事業	老朽化し、バリアフリー未対応の資料館の更新に要する経費
公園施設長寿命化事業	遊具更新などの公園の長寿命化に要する経費
国補道路新設改良事業	佐伯長船線の整備、歩道橋等道路附属物の改修に要する経費
交付金道路新設改良事業	岡山倉敷線（白石橋）の整備に要する経費
公共街路事業	下中野平井線、大元二日市町線の整備に要する経費
宅地耐震化推進事業	大規模盛土造成地の変動予測調査に要する経費
学校施設長寿命化改修事業	学校施設の長寿命化等に要する経費
学校の感染拡大防止	学校の感染症対策に要する経費
【下水道事業会計】 下水道整備事業	公共下水道（管きよ、ポンプ場）の整備などに要する経費

国
補
正
関
係

<前倒し実施予定事業費> 84億円（うち一般会計69億円）

7 「社会保障と税の一体改革」の充実

平成26年度からの消費税率の引上げに伴う増収分は、国・地方とも全て社会保障の充実と安定化に使われます。

区 分	H26.3.31以前	H26.4.1以降	引上げ率	R元.10.1以降	引上げ率
消 費 税	4.0%	6.3%	2.3%	7.8%	3.8%
地方消費税	1.0%	1.7%	0.7%	2.2%	1.2%
合 計	5.0%	8.0%	3.0%	10.0%	5.0%

[引上げ率はいずれもH26.3.31以前との比較]

国・地方増収見込額 約14.1兆円

(注) 軽減税率制度による減収分は考慮していない。

●岡山市における増収額及びその使途

○ 増 収 額

区 分	予算額	うち消費税率引上げによる増収分
地方消費税交付金	163億4百万円	87億92百万円

※なお、消費税率10%への引上げに伴う交付金の増収は、R2年度以降に歳入されています。

○ 使 途

(単位:百万円)

区 分	事 業 費	財 源	
		特定財源	一般財源
社会福祉費	22,480	15,226	7,254
老人福祉費	729	141	588
児童福祉費	46,039	28,280	17,759
生活保護費	22,828	17,231	5,597
社会保険費	26,627	5,092	21,535
保健衛生費	2,872	872	2,000
合 計	121,575	66,842	54,733

消費税率引上げによる増収分については、社会保障施策に要する経費に充当しています。

(注) 地方消費税交付金を充当する主なものは、以下のとおりです。

社会保障の充実経費

- ★ 子ども・子育て支援新制度への対応等
- ★ 低所得者保険料軽減措置の拡充等
- ★ 医療・介護サービスの提供体制の拡充
- ★ 難病・小児慢性特定疾病への対応
- ★ 社会的養護の充実

一般会計歳入・歳出

■ 歳入

(単位:千円)

	4年度当初 A	3年度当初 B	差 引 増 減		構 成 比 (%)	
			増減額 A-B	増減率(%) (A-B)/B	4年度 当 初	3年度 当 初
市税	131,679,676	124,918,324	6,761,352	5.4	37.3	36.3
地方譲与税	2,661,000	2,610,000	51,000	2.0	0.8	0.8
利子割交付金	90,000	116,000	△ 26,000	△ 22.4	0.0	0.0
配当割交付金	575,000	532,000	43,000	8.1	0.2	0.2
株式等譲渡所得割交付金	815,000	499,000	316,000	63.3	0.2	0.1
分離課税所得割交付金	144,000	103,000	41,000	39.8	0.0	0.0
法人事業税交付金	1,697,000	1,401,000	296,000	21.1	0.5	0.4
地方消費税交付金	16,304,000	16,444,000	△ 140,000	△ 0.9	4.6	4.8
ゴルフ場利用税交付金	108,000	96,000	12,000	12.5	0.0	0.0
環境性能割交付金	353,000	321,000	32,000	10.0	0.1	0.1
軽油引取税交付金	5,864,000	5,824,000	40,000	0.7	1.7	1.7
国有提供施設交付金	60,000	61,000	△ 1,000	△ 1.6	0.0	0.0
地方特例交付金	948,000	2,503,000	△ 1,555,000	△ 62.1	0.3	0.7
地方交付税	38,800,000	33,500,000	5,300,000	15.8	11.0	9.7
交通安全対策特別交付金	242,000	218,000	24,000	11.0	0.1	0.1
分担金及び負担金	1,566,591	1,531,336	35,255	2.3	0.5	0.4
使用料及び手数料	6,369,864	6,334,203	35,661	0.6	1.8	1.8
国庫支出金	68,171,733	65,760,128	2,411,605	3.7	19.3	19.1
県支出金	19,095,738	18,081,546	1,014,192	5.6	5.4	5.3
財産収入	650,090	666,890	△ 16,800	△ 2.5	0.2	0.2
寄附金	447,630	217,630	230,000	105.7	0.1	0.1
繰入金	8,869,048	7,753,504	1,115,544	14.4	2.5	2.3
諸収入	3,890,080	3,396,914	493,166	14.5	1.1	1.0
市債	43,546,000	51,171,800	△ 7,625,800	△ 14.9	12.3	14.9
合 計	352,947,450	344,060,275	8,887,175	2.6	100.0	100.0

■ 歳出

(単位:千円)

	4年度当初 A	3年度当初 B	差 引 増 減		構 成 比 (%)	
			増減額 A-B	増減率(%) (A-B)/B	4年度 当 初	3年度 当 初
議会費	1,140,428	1,148,669	△ 8,241	△ 0.7	0.3	0.3
総務費	40,120,140	34,297,143	5,822,997	17.0	11.4	10.0
民生費	140,789,159	135,911,142	4,878,017	3.6	39.9	39.5
衛生費	26,729,017	27,609,119	△ 880,102	△ 3.2	7.6	8.0
労働費	308,619	324,932	△ 16,313	△ 5.0	0.1	0.1
農林水産業費	7,153,164	6,502,031	651,133	10.0	2.0	1.9
商工費	3,327,111	3,126,842	200,269	6.4	0.9	0.9
土木費	42,956,768	41,983,058	973,710	2.3	12.2	12.2
消防費	8,641,666	8,838,760	△ 197,094	△ 2.2	2.4	2.6
教育費	47,491,144	49,667,136	△ 2,175,992	△ 4.4	13.5	14.4
災害復旧費	0	0	0	-	0.0	0.0
公債費	34,090,234	34,451,443	△ 361,209	△ 1.0	9.6	10.0
予備費	200,000	200,000	0	0.0	0.1	0.1
合 計	352,947,450	344,060,275	8,887,175	2.6	100.0	100.0

特別会計

(単位:千円)

会 計 別	4年度当初 A	3年度当初 B	差 引 増 減	
			増減額 A-B	増減率(%) (A-B)/B
国民健康保険費	67,279,820	67,405,351	△ 125,531	△ 0.2
用品調達費	45,391	52,480	△ 7,089	△ 13.5
災害遺児教育年金事業費	14,792	12,876	1,916	14.9
公共用地取得事業費	150,262	128,975	21,287	16.5
財産区費	17,750	18,980	△ 1,230	△ 6.5
学童校外事故共済事業費	13,913	12,440	1,473	11.8
母子父子寡婦福祉資金貸付事業費	170,071	165,304	4,767	2.9
介護保険費	69,159,670	67,493,563	1,666,107	2.5
後期高齢者医療費	11,453,477	10,297,092	1,156,385	11.2
公債費	45,188,598	45,580,693	△ 392,095	△ 0.9
岡山市立総合医療センター病院事業債	2,452,425	1,725,073	727,352	42.2
合 計	195,946,169	192,892,827	3,053,342	1.6

事業会計

(単位:千円)

会 計 別	4年度当初 A	3年度当初 B	差 引 増 減	
			増減額 A-B	増減率(%) (A-B)/B
病院事業会計	169,791	80,432	89,359	111.1
水道事業会計	25,900,000	25,434,000	466,000	1.8
工業用水道事業会計	266,000	411,000	△ 145,000	△ 35.3
市場事業会計	1,177,228	1,031,711	145,517	14.1
下水道事業会計	49,880,670	49,304,654	576,016	1.2
合 計	77,393,689	76,261,797	1,131,892	1.5



予算性質別経費

■ 一般会計

(単位: 百万円)

区 分	4年度当初		3年度当初		増減額 A - B	伸び率(%) (A-B)/B	
	予算額 A	構成比(%)	予算額 B	構成比(%)			
義務的経費	人件費	80,232	22.7	80,691	23.5	△ 459	△ 0.6
	扶助費	94,168	26.7	91,961	26.7	2,207	2.4
	公債費	33,941	9.6	34,335	10.0	△ 394	△ 1.1
	計	208,341	59.0	206,987	60.2	1,354	0.7
投資的経費	普通建設事業費	49,597	14.1	47,933	13.9	1,664	3.5
	補助事業費	15,259	4.3	13,812	4.0	1,447	10.5
	単独事業費	32,738	9.3	32,621	9.5	117	0.4
	国直轄事業負担金	1,600	0.5	1,500	0.4	100	6.7
	災害復旧事業費	0	0.0	0	0.0	0	-
計	49,597	14.1	47,933	13.9	1,664	3.5	
その他の経費	物件費	39,046	11.1	35,710	10.4	3,336	9.3
	維持補修費	5,962	1.7	5,104	1.5	858	16.8
	補助費等	19,357	5.5	18,524	5.4	833	4.5
	繰出金	26,638	7.5	25,935	7.5	703	2.7
	投資及び出資金	3,377	0.9	3,250	0.9	127	3.9
	その他	629	0.2	617	0.2	12	1.9
計	95,009	26.9	89,140	25.9	5,869	6.6	
合 計	352,947	100.0	344,060	100.0	8,887	2.6	

■ 普通会計

(単位: 百万円)

区 分	4年度当初		3年度当初		増減額 A - B	伸び率(%) (A-B)/B	
	予算額 A	構成比(%)	予算額 B	構成比(%)			
義務的経費	人件費	80,237	22.6	80,696	23.3	△ 459	△ 0.6
	扶助費	94,174	26.4	91,966	26.6	2,208	2.4
	公債費	34,721	9.8	35,123	10.2	△ 402	△ 1.1
	計	209,132	58.8	207,785	60.1	1,347	0.6
投資的経費	普通建設事業費	49,698	14.0	48,033	13.9	1,665	3.5
	補助事業費	15,259	4.3	13,812	4.0	1,447	10.5
	単独事業費	32,839	9.2	32,721	9.5	118	0.4
	国直轄事業負担金	1,600	0.5	1,500	0.4	100	6.7
	災害復旧事業費	0	0.0	0	0.0	0	-
計	49,698	14.0	48,033	13.9	1,665	3.5	
その他の経費	物件費	39,054	11.0	35,713	10.3	3,341	9.4
	維持補修費	5,962	1.7	5,104	1.5	858	16.8
	補助費等	19,369	5.5	18,535	5.4	834	4.5
	繰出金	26,677	7.5	25,958	7.5	719	2.8
	投資及び出資金	3,377	0.9	3,250	0.9	127	3.9
	その他	2,252	0.6	1,478	0.4	774	52.4
	計	96,691	27.2	90,038	26.0	6,653	7.4
合 計	355,521	100.0	345,856	100.0	9,665	2.8	

基金及び地方債現在高の状況

■ 基金の状況

(単位:百万円)

区 分	2年度末 残 高	3 年 度 中 見 込		3年度末 残高見込	4 年 度 中 見 込		4 年 度 当 初 後 残高見込	(参考) 3年度 当 初 後 残 高
		積立金	取崩額		積立金	当 初 取崩額		
財政調整基金	19,809	6,366	5,378	20,797	70	5,000	15,867	14,935
市債調整基金	1,446	64	—	1,510	66	—	1,576	1,546
公共施設等整備基金	16,748	59	2,000	14,807	59	3,000	11,866	12,861
3基金合計	38,003	6,489	7,378	37,114	195	8,000	29,309	29,342

(注1) 令和3年度の財政調整基金の積立金には、令和2年度決算剰余金の積み立て6,300百万円を含む。

(注2) 市債調整基金は、満期一括償還地方債の元金償還に係る積立額及び取崩額を除いたもの。

■ 地方債残高の状況

(単位:百万円)

区 分	2年度末 残 高	3 年 度 中 見 込		3年度末 残高見込	4 年 度 中 見 込		4 年 度 当 初 後 残高見込	(参考) 3年度 当 初 後 残 高
		元 金 償 還 金	借 入 額		元 金 償 還 金	当 初 借 入 額		
一般会計	(140,327)	(19,024)	(33,756)	(155,059)	(18,018)	(30,346)	(167,387)	(160,477)
	327,027	32,079	59,176	354,124	31,843	43,546	365,827	358,993
特別会計	13,876	932	630	13,574	909	1,390	14,055	13,701
小 計	340,903	33,011	59,806	367,698	32,752	44,936	379,882	372,694
事業会計	228,923	18,444	20,590	231,069	18,864	16,675	228,880	231,053
合 計	569,826	51,455	80,396	598,767	51,616	61,611	608,762	603,747
(再掲) 普通会計	(150,166)	(19,703)	(34,386)	(164,849)	(18,690)	(31,736)	(177,895)	(170,394)
	336,866	32,758	59,806	363,914	32,515	44,936	376,335	368,910

(注1) 「3年度中見込」の「借入額」欄は、令和2年度からの繰越事業分を含む。

(注2) ()内は、減税補てん債、臨時財政対策債等100%交付税算入される起債を除いたもの。

(注3) 元金償還金は、満期一括償還地方債の償還財源に充てるため市債調整基金に積み立てた額を含み、基金から繰入れて満期一括償還した額は除く。

